令和２年度事業計画案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和２年５月２５日

１．小水力発電プロジェクト

　　小水力発電による地域おこし事業計画（事業可能性調査）

1. 県エネルギー地産地消推進事業費補助金申請（５月８日）
2. 内容：寸又川系大間川、奥湯沢・湯沢にて水量調査

費用：事業費用１、３２０、０００円、

　　　　　　　　申請補助金額４００，０００円

　　　　　期間：本年度中

　　　　　委託：社団法人小水力開発支援協会（理事長中島　大）

　　　　　調査：夏場３０日、冬場３０日

　　　調査機材：借用、（株）ケネック、（株）センシズ

　　　事業目的：小水力発電に必要な水量測定とその可能性を探る。

　　　（今後予定）：可能性調査で有望な結果が出れば、小水力発電

　　　　　　　　　　設計段階に入るが、我々は脇役となる。

　　　収益構造：中電への売電（３４円/KW）が基礎になる。

　　　　自治体：川根本町

２．川根ガイド養成講座

　　１）樹木学：講師：飯尾淳弘（静岡大准教授）

　　　　　　　　日程：１０月の紅葉の頃

　　　　　　　　狙い：主要な樹木の説明解説

　　　　　　　　募集：１５人程度

　　　　　　　　費用：３，０００円（テキスト代を含む）

1. 地質・地形：講師：村松　武（飯田市美博学芸員）

　　　日程：未定（継続実施要望あり）

1. 川根案内人組合（仮称）結成支援協力

社団法人エコティー川根、NPO法人静岡山の文化交流センター、南アルプスファンクラブ、川根本町街おこし観光協会等で組織化を進め、ネイチャーガイドを登録し、規約・定款等を定め、料金体系も明確にする。事務局は、街おこし観光協会内に置く。

３．第３次登山ルート整備事業計画（光岳）

　　　１）今年の目標は、寸又峡温泉——光岳往復山行の実施である。

　　　　同時に、主要地点に標識を設置する。迷いやすい地点の標

　　　　識を確認し、手直しする。

1. 避難小屋建設の可能性打診。山主加藤商事と相談する。

静岡森林管理署の協力を求める。

1. 山岳雑誌への投稿：タイミングを見て、状況報告を「岳人」や「山と渓谷」等に行い、ルート利用のPRを行う。

４．第３次植林・育林事業活動

　　　１）植林：（休止）尾崎林業の最後の伐採地0.22haにコナラ

　　　　　　　　２００本、山栗２００本、その他広葉樹合計１０

　　　　　　　　００本の植林を行う計画であったが、予算都合で。

　　　２）育林（下草刈り）①５月３０日第一次予定。１１人

　　　　　　　　　　　　　②６月７日、③６月１３日

　　　　　　　　　　　　　④７月１８日⑤９月１２日

５．南アルプス学概論関連講演会開催

　　秋口に単独の講演会を企画する。コロナ禍の影響を見ながら。

６．高校山岳部との交流会開催

　　静高山岳部と試験的に開催する。コロナの影響を見ながら。

　　南アルプス学概論スライドを使う。

７．里山保全活動の開始

　　静岡市中央卸売流通センターの裏山は全山竹山状態にある。

　　元はみかん畑や茶畑だったと思われるが、放置された結果であ

　　ろう。竹林を伐採し、広葉樹を植林して、広葉樹の山に復元し

　　将来子どもたちの遊び場にでもなればいいと思う。地主と相談

　　しながら長期的に取り組むプロジェクトとしたい意向である。

　　今年から地主を探し出して、静岡市会議員立会いの元で、地主

　　との契約を締結したい。里山保全整備計画書を作成し、公益財

　　団法人静岡県グリーンバンクの助成金を得て、長期的に取り組

　　みたい。「地域環境保全タイプ・・・里山林保全活動、侵入竹除

　　去、竹林整備活動」を、できれば、１部、秋口からでも開始し

　　たいと考えている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上